

トライ班から一名 一般就労決定!!



トライ班の鈴木南々海さんが、3ヶ月間のトライアル雇用を経て、「南山病院」への就職が決まりました！トライアル雇用の期間中も、いち早く業務に慣れることを目指し、色々な業務に挑戦する姿を見てきました。清掃業務を行う中で、達成感や充実感も得られたようで「ここで働いていきたい」と決意し、見事、本採用となりました。南々海さん本人からは「就職して給料を貯めて、旅行に行きたい！」という夢があるらしく、今後も職場定着に向け、サポートをして参ります。たまん利用者・職員一同応援していますので、頑張ってください！

就労移行支援事業の訓練生メンバー募集！



「就労支援センターたまん」では、就労移行支援（職業準備訓練）をとおして一般就労を目指す方を支援しています。人との関わりの中で対人関係の大切さや働くためのマナーを学び、仲間同士が刺激し合いながら「自分も就職したい」という意欲を育てる環境づくりを大切にしています。一般就労は収入だけでなく、地域の方々との関わりや「自分は社会の一員である」という自信にもつながり、ご本人はもとよりご家族の安心にも結びつきます。「たまん」は20年以上の支援実績を持つ専門スタッフによるチーム支援、**一般就労実績 63名・定着率 92%**という確かな実績と企業連携、県内最大級となる70名以上の利用者数を活かした集団訓練、支援終了後も続く温かなつながり、幼児期から就職後まで法人全体で支える切れ目のない体制など、5つの強みを持っています。就職後も就労定着支援事業により、最長3年間、安心して働き続けられるようサポートいたします。

ボランティアありがとうございます！ 喜屋武 竜匡さん、中村 伝さん



社会福祉法人たまん福祉会
就労支援センターたまん
〒901-0362
沖縄県糸満市字真栄里 857 番地
電話 098 (995) 1992
FAX 098 (995) 1310
メール info@taman.or.jp
HPアドレス <http://www.taman.or.jp/>

令和8年9月18日発行

たまん福祉会創立25周年の挨拶

たまんは平成13年9月1日に知的障害者通所授産施設『たまん』が開所し、今年の9月1日に創立25周年を迎えました。当初は知的障害者を専門とした施設であったが、法律が変わり、知的障害者、身体障害者、精神障害者を受け入れ、『就労移行支援事業』と『就労継続支援B型事業所』に変更し、施設名も『就労支援センターたまん』に変わりました。



更に新規事業として〔相談支援センター、保育園、グループホーム、児童発達支援センター、放課後等デイサービス、就労定着支援、就労選択支援等々〕多くの事業を取り入れ複合施設として大きく成長してきました。これも偏にたまんの役職員と保護者及び関係者の皆様のお陰であると感じています。たまん福祉会は、常に施設利用者にとってより良い支援と、地域社会から必要とされる事業所を目指して頑張りたいと考えておりますので、これまでどおり皆様方のご支援、ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人たまん福祉会 理事長 金城 幸範



10月3日（土）余暇活動

10月7日（水）リーダー会議・職務会議

10月12日（月）スポーツの日

10月16日（金）広報委員会

10月21日（水）個別支援計画作成・発表の為、利用者13時退勤

10月22日（木）第三者委員会（予定）

10月24日（土）ゆいフェスティバル

10月28日（水）生産活動検討会

10月29日（木）感染対策委員会

新しい利用者さんのご紹介



令和8年9月15日（火）より「上原一真さん」が加わりました。一真さんは過去に就職の経験があり、たまんで訓練し、再就職を目指したいという目的で入所しました。サン班の所属となり、真面目に集中して作業に取り組んで、とても頼もしく思います。これからも様々なことにチャレンジし成長をお手伝い出来れば幸いです。これからよろしくお願い致します。

新職員の紹介



9月1日付で入職しました、奥村麻由子と申します。前職では小売業に勤務し、総務・経理補助の業務に18年間携わってきました。福祉事業に携わるのは今回が初めてで、日々新しく学ぶことがたくさんあります。不安もありますが、楽しんで学んでいけたらと思っています。利用者さんから「まゆこさん、頑張ってるねー」と声をかけていただき、名前を覚えてくださっていたことがとても嬉しく、「よし！頑張ろう」と大きな励みになりました。施設内はとても賑やかで明るい雰囲気にあふれており、私自身も毎日元気をもらっています。一日も早く皆さんのお役に立てるよう頑張っていきたいと思いますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

【余暇活動】映画鑑賞および災害訓練



8月22日、たまん食堂にて「BCP 災害実地訓練及び余暇活動支援」を実施しました。今回の訓練では、災害発生時に備えて備蓄している非常食が、実際に問題なく調理でき、おいしく食べられる状態であることを確認するため、調理・試食を行いました。また、今回が初めての試みということもあり、備蓄品の非常食試食会とあわせて、余暇活動として映画鑑賞も実施しました。非常食については、備蓄用カレーと備蓄用のα米を使用し、実際にお湯を使って調理しました。

※α米は、常温で約5年間の長期保存が可能な非常食です。お湯を使用する場合は約15分、水の場合は約60分で戻すことができ、災害時でも手軽にご飯を準備することができます。

今回初めて実施した試食会では、参加された利用者の皆さん、職員ともに、おいしくいただくことができました。「備蓄食品」と聞くと、味はどうか、調理にどのくらい時間がかかるのか、実際に提供するまでに時間がかからないかなど、さまざまな点が気になっていました。しかし、実際に調理してみると、カレーもα米も短時間で準備・提供することができ、災害時にとても役立つ備蓄食品であることを改めて確認することができました。今回の訓練を通して、実際に調理し、食べて確認することの大切さを学ぶ良い機会となりました。今後も、災害時に備え、このような実践的な訓練の機会を増やしていきたいと思います。

【余暇活動】映画鑑賞



令和8年8月29日（土）、たまん食堂にて余暇活動が開催されました。今回の余暇活動は映画鑑賞。演目は「千と千尋の神隠し」を上映しました。皆さん集合時間にしっかり間に合わせ上映スタートまで静かに座席で待たれていました。上映中は湯婆ばやカオナシなどのキャラクターが出てくるたびに声が上がり楽しまれていました。お昼は丸亀製麺のうどん弁当をいただきました。暑い季節にぴったりの冷やし麺で皆さんあっという間に完食されていました。次回の余暇活動も楽しんでいただけるように美味しいお弁当や映画をリサーチ中です。次回の余暇活動も大勢のご参加お待ちしております。

トライ班の就労移行訓練（役所販売）



就労移行トライ班では、毎月第3金曜日11時～12時半ごろまで、糸満市役所において物品販売を行っています。物品販売の目的として、「接客技術の習得」「お金の計算法習得」「自社製品を販売することの難しさを知ること」があります。商品としては、大地班が愛情込めて育てた「大豆若葉」「花苗」を販売しております。利用者の中には障害特性上、人と関わることを苦手としている方もいらっしゃいますが、四苦八苦しながらも工夫を凝らし、がんばっております。ぜひ一度お立ち寄りください。